

岡山と中国を結ぶ日中友好のしんぶん

岡山と中国

新年特別号

2026年 1 月
令和 8 年 1 月
285号

信 条

この会は思想・信条、政党・政派の
違いにとらわれない
この会は広く各界各層の日中友好
を願う人々の市民組織である

発行所 認定NPO法人 岡山市日中友好協会
http://www.oka-rizhongyouxie.jp/
E-mail: oknittyu@yahoo.co.jp

〒700-0902 岡山市北区錦町 5-15
☎ (086) 225-5068 FAX (086) 225-5041
郵便振替 01240-1-8821 加入者名 岡山市日中友好協会

発行人 土井章弘 1部200円 印刷 旭総合印刷株
編集人 松井三平



ご挨拶

岡山市長 大森雅夫

友好の絆をさらに強固に

皆様方におかれましては、
健やかに新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。
また、岡山市日中友好協会
の皆様におかれましては、平
素から、岡山市の国際友好都
市である洛陽市との交流をは
じめ、日中両国の民間交流の
推進に大きな役割を果たして

洛陽と協力45周年
官民で草の根交流
7月には「子ども海外派遣
事業」に本市の中学生8名が
参加し、洛陽市でのホームス
テイを経験するとともに、洛
陽市の中高生との交流活動な
どを通じて、未来につながる

今年には「子ども海外派遣
事業」に本市の中学生8名が
参加し、洛陽市でのホームス
テイを経験するとともに、洛
陽市の中高生との交流活動な
どを通じて、未来につながる

(2面に続く)



2026年 新年ご挨拶

「互助互愛」精神での活動推進

岡山市日中友好協会会長

土井章弘

新年あけましておめでとう
ございます。
昨年は、内山完造先生誕14
0周年という記念すべき年で
した。協会では事業推進のた
めの募金活動を実施し、資料
収集や上海市との連絡など準
中共同声明が調印されまし

内山完造記念事業 ご協力に深く感謝

振り返りますと1972
年、日中双方の努力により日
中共同声明が調印されまし

10月には上海魯迅記念館で
展示会とシンポジウムを、上
海市人民対外友好協会及び虹
口区政府との共催で開催、盛
会裏に終えることができまし
た。ご協力ご支援頂いた皆様
方に改めて厚くお礼申し上げ
ます。

も早い関係正常化を願う次第
です。

岡山市日中友好協会は、初
代会長の赤木五郎先生が提唱
された『市民みんなで日中友
好』を実践し、民間交流によつ

いただき、心から感謝申し上
げます。昨年4月には貴協会
主催の市民訪問団とともに岡
山市公式訪問団が洛陽市を訪
問しました。

今後とも様々な取組を通じ
て、歴史的・地理的に密接な
関係のある中国と、これまで
培ってきた友好の絆をさらに
強固なものとするべく取り組ん
でまいります。引き続き皆様
方のお力添えを賜りますよう
お願い申し上げます。

協会も設立45周年 節目の年に飛躍を

加えて本年は、協会設立45
周年、また、岡山市と洛陽市
が友好都市を締結して45周年
の節目の年でもあります。こ
の記念事業を中心に、行政と
も協力しながら日中相互理解
を促進するため、民間友好活
動を推進して参りたいと思い
ます。

地球の温暖化防止と戦争を
しないこと、この二つが、ホ
モ・サピエンス（ヒト）の生
き残るかすかな光です。
大宇宙大和楽（坂村真民）

て心と心のライフ・ラインを
敷設するために努力して参り
ました。

内山完造先生の人間愛、博
愛を基本とした『互助互愛』
の精神、そして、自らを鼓舞
して訴えられた『先駆者の道
に花はない』という想いを受
け継ぎ、力強く歩んでいきた
いと決意しております。

日中両国の友好と信頼関係の回復・正常化を願う

再確認 市民みんなで日中友好

あけましておめでとうございます。未来につながる“互助互愛”精神で

地域医療支援病院
公益財団法人 操風会
岡山旭東病院
総院長 土井章弘
岡山市中区倉田567-1
電話 086-276-3231

学校法人 岡山科学技術学園
理事長 瀬戸川 正彦
岡山市北区昭和町八番一〇号
電話(〇八六)二五五七七一

日本語教育
学校法人 アジアの風
岡山外語学院
理事長 片山 浩子
副理事長 森下 明子
校長 尾亦 祐司
岡山市北区舟橋町2-10
電話(086)(23)5211
文部科学省
認定日本語教育機関
【留学】
登録日本語教員養成機関
登録実践研修機関

エヴァホール
電話(〇二二〇)〇五一一〇〇〇

(株)アジア・コミュニケーションズ
代表取締役 松井 三平
取締役・マネージャー 小比賀 理佐
岡山市北区錦町五一一五
電話(〇八六)二二二一〇三三四
FAX(〇八六)二二二一七三三二

旭総合印刷株式会社
代表取締役社長 大松 康彦
岡山市北区内山下二丁目一〇一三
電話 二三二一三三一一

日中仏教文化交流

洛陽・白馬寺を訪ねて
45年の交流の歴史を繋ぐ

長泉寺住職 宮本龍門



懇談する妙通師（中央）と龍門住職（左）

私たち長泉寺校心会は、10月16日から6日間の日程で、中国・洛陽市を訪れ、日中仏教文化交流を行ってまいりました。一行は、私の他に檀信徒や他寺院住職2名が加わり総勢18人での訪問でした。今回の一番の目的は、45年にわたって交流を続けている洛陽・白馬寺様への参拝です。この度は、嵩山少林寺の兼務住職となられたばかりの印樂方丈様はご不在で、代務の妙通師が我々一行をお出迎え下さいました。

貴賓室でのレセプションでは、日中それぞれの仏教トピックに花が咲くとともに、白馬寺様と長泉寺との友好交流の歴史や意義についても共有することができました。我々からは、真言宗祖弘法大師著の『十卷章』、並びに熊野筆をお土産として奉納し、白馬寺様からは陶器の白馬像と、同寺創建に関わる『仏説四十二章經』の立派な拓本を頂戴しました。

その後、妙通師と一緒に大佛殿で般若心経を奉唱し、広い境内を参拝。さらにはおもてなしの精進料理を共に囲み、美味しく楽しくそして有意義な時間を過ごさせていただきました。今回の友好訪問については、岡山市日中友好協会を始め、関係者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

森田潔氏（岡山大学名誉教授）が開会挨拶。郭沫若の孫にあたる藤田梨那国士館大学教授、名和悦子氏（日本郭沫若学会会員）、遊佐徹岡山大学教授が研究報告をした。会場には、研究会の会員や研究者らが参加した。



ご挨拶

中華人民共和国
駐大阪総領事

薛

劍

中日友好の民意の土壌を育もう

2026年新年にあたり、中国駐大阪総領事館を代表し、謹んで皆様に新年のご挨拶を申し上げます。昨年、貴会が戦後80周年にあたり組織された、会員によるハルピンの侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館への訪問、更に帰国後も積極的に関西

この一年、岡山市日中友好協会は、土井章弘会長のご指導のもと、中日友好交流を熱心に展開、会員の洛陽・上海・深圳などへの訪問を組織し、中国歴史講座や中日学生交流など様々なイベントを開催してこられました。

これは両国民、そして中日友好の推進に尽力する全ての有識者の皆さんが決して望まない状況です。歴史が証明しているよう

新しい一年、岡山市日中友好協会には、岡山各界を率いて、友好の初心に立ち返り、友好の信念を固め、両国関係が正しい軌道に戻るよう、しかるべき役割を果たしてくださることを期待しています。最後に、岡山市日中友好協会の益々のご発展を祈念し、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

友好の初心に返り
しかるべき役割を

（1面より）
この記念すべき節目を新たな契機として、官民が一体となって、人と人をつなぐ草の根の交流を進めることにより、本市と洛陽市、また、日中両国の友好が一層深まる年になることを期待しております。

メージから、発展や成長の年になると言われる午年です。
都市の総合力高め
未来を切り拓こう
今年も、地域振興や街の賑わいづくり、地域経済の活性化、公共交通の利便性向上、子育て・教育や健康・福祉の充実、国際交流、防災対策などの施策を、より力強く推し進めたいと考えています。

進めるとともに、「心の豊かさ」や「わくわく感」をより高める要素を取り入れることで、都市の総合力を一層高め、岡山市の未来を切り拓いていく所存です。

各界へ歴史の真相を発信し、平和を呼びかけられたことは、日本国民の正しい歴史認識の樹立、また両国民の相互理解や友好感情の増進に、大きな貢献を果たしました。

改めまして、皆様のこの一年のご尽力、そして当館の取組みへの多大なるご支持に、謹んで心からの敬意と感謝を申し上げます。

中日友好の民意の土壌を絶えず育み、両国民の友好往来の基盤を築き上げてこそ、両国関係という大木は、葉を茂らせ、力強く根を張り、どんな風雨の試練も乗り越えていくのです。

あけましておめでとうございます。未来につながる“互助互愛”精神で

<p>岡山県日中教育交流協議会</p> <p>会長 鍵本芳明</p> <p>〒700-0902 岡山市北区錦町五十一番五</p> <p>電話（〇八六）二二五二五〇八三</p> <p>FAX（〇八六）二二五二五〇四一</p> <p>南田ビル二階</p>	<p>岡山ビジネスカレッジ</p> <p>校長 西崎 誠</p> <p>〒700-0902 岡山市北区岩田町三十一番二</p> <p>電話（〇八六）二二五二五〇八三</p> <p>FAX（〇八六）二二五二五〇四一</p> <p>http://www.obcnet.ac.jp</p> <p>E-mail:obc@obcnet.ac.jp</p>	<p>黒住教</p> <p>教主 黒住宗道</p> <p>〒700-0902 岡山市北区尾上神道山</p> <p>電話（〇八六）二二五二五〇八三</p> <p>（代表）</p>	<p>五洋工業株式会社</p> <p>代表取締役 田口晃大</p> <p>岡山市北区新屋敷町一六二二六</p> <p>電話 二四一四六五五</p>	<p>下津井電鉄株式会社</p> <p>代表取締役会長 永山久人</p> <p>岡山市北区大元駅前三一六二</p> <p>電話（代表）二三三八八一</p>	<p>株式会社 田辺産業</p> <p>代表取締役 田邊繁之</p> <p>岡山市北区錦町五一五</p> <p>電話 二二五一四九一</p>
---	--	--	---	---	--

内山完造生誕140周年記念事業

上海魯迅記念館で盛大に開幕 展示会・学術シンポジウム華々しく

内山完造翁の生誕140周年記念事業が、10月、岡山と上海でスタート。まず、翁の活躍した主舞台でもあった上海から、開幕式・展示会・シンポジウムで華々しく開幕した。しかし、その後の日中を取り巻く諸般の事情から岡山での開催は残念ながら当面「延期」せざるを得なくなった。今回は、上海で開幕した記念事業の盛り上がりぶりを紹介します。

一連の記念事業は、岡山市となし、文化の交わりを期す「内山完造と中日・日中友好協会、虹口区人民政府の共催で行われた。全体のテーマは「書肆をもって津梁

趣旨は、上海側と岡山側が相協力して、内山完造の生誕140周年を記念し、足跡を顕彰、翁の友好の理念を将来に伝えていこうと開かれた。

日本国在上海総領事も出席

開幕式は、19日、上海市の上海魯迅記念館で開かれた。式典には、上海市人民対外友好協会から陳靖会長、在上海日本国総領事館の岡田勝総領事、岡山市日中友好協会からは土井章弘会長、それに内山

書店の内山深社長ら。出席者は各界から総勢約80人に上り、にぎやかな開幕セレモニーとなった。

この中で土井会長は「内山先生は中国で多くの友情を築き、戦後は日中友好運動の先頭に立たれた。現在の両国関係は必ずしも順調ではないが、関係発展に尽力していきたい」と挨拶。

完造出身の井原市からも、森川孝一教育長と片岡良仁文化協会会長らが出席。郷土出身の内山完造の功績を紹介した。

魯迅らとの交流を紹介

展示会「内山完造と中日友好」展は、完造の生涯をたどりながら、貢献ぶりや、友好の理念、魯迅らとの交流などを紹介している。

コーナーは「内山完造と上海内山書店」「内山完造と中日文化交流」「内山完造と魯

迅」「中日友好に身を尽くす」の4部に分かれ、完造の活動を写真や資料で紹介していた。岡山側からも、資料が提供された。

学術シンポジウムには、上海側、岡山側双方から、学者・

上海・ICCTモデル校視察 森川井原市教育長訪問

中国の古今東西を訪ねる講座（第4回）が、11月29日、岡山シティホテル桑田町会議室で開かれた。

今回のテーマは「中国最新教育事情・上海市虹口区外国語第一小学を視察して」。講師は、井原市教育委員会、教育長の森川孝一氏。

森川氏は、10月18日から21日の日程で、「内山完造生誕140周年記念訪問団」に参加。19日の公式行事を終えた翌日の20日、上海市虹口区人民対外友好協会の案内により外国語教育とICT教育のモデル校である虹口区外国語第一小学を視察訪問した。

研究者、専門家、関係者らが参加した。

参加者は、それぞれに基調講演、歴史資料を読み解きながら、意見交換し、国境を越えた「内山精神」について熱心に論じ交流していた。

森川氏は、視察した同小学の状況について「圧倒されたい」などの言葉で表現され、その先進的な取り組みを感動的に報告された。

外国語授業では①自分のイメージを英語で文章化②英語を正しく音声認識で入力③生成AIでイメージを画像作成（生成AI描画ツールとして使用し、児童の描画時間を短縮）④生成された画像をもとに英語で議論するーといった画期的な取り組みを紹介。

ICTの学習ではインフォメーションの授業や人工知能の授業を実施、自校で授業も開発していることなど。課題としては、教師のスキルアップが挙げられる、など。

講演では、何度も「驚愕」「圧倒された！」などの言葉が飛び出し、この先進的な取り組みが感動的に語られた。この上海の取り組みを井原市でも学んでいきたいと話された。

講座には、約50人が参加、日本とは全く異なったITを活用した中国流の外国語教育の実践について聞き入っていた。



開幕式のオープニング



文化交流を紹介する写真展示



完造・みき夫妻が眠る「比翼塚」参拝



上海市虹口区外国語第一小学での懇談

祝 あけましておめでとうございますー(年)ー未来につながる“互助互愛”精神で(五十音順) 祝



株式会社 中外燐寸社

代表取締役 田中 礼一郎

岡山市南区浦安南町五五〇
電話 二六三一・二二四五

株式会社 トマト銀行

取締役社長 高 木 晶 悟

岡山市北区番町二一三・一四
電話(〇八六)二二二一・一〇一〇

洛陽に縁結んで半世紀

協会副会長 宮 本 光 研

〒七〇〇・八〇七 岡山市北区南方三ー一〇一四〇
電話(〇八六)二二三一・七四五〇

室賀ネジ機工株式会社

代表取締役 室 賀 康 史

岡山市北区大内田七六ー一三
(ソリユッセル岡山内)
TEL(〇八六)二九二一・五五〇〇
FAX(〇八六)二九二一・五五八〇

株式会社 レイ

ANAクラウンプラザホテル岡山

取締役 岡 崎 登

岡山市北区駅元町一五一ー一
電話 八九八一・一一一一

岡山市・洛陽市友好都市

締結45周年

認定NPO法人
岡山市日中友好協会

設立45周年

松本日中と岡山で交流会

相互連携と発展対策を論議

松本日中友好協会（相澤孝 修交流会が、10月26、27日、夫会長）を岡山に迎えての研 開かれた。



共同事業の提案も出た交流会



意見交換する相澤会長(中央)と土井会長(右)

松本側は、相澤会長等7人

の代表団、岡山側は土井章弘

会長、黒住昭子副会長、森田

潔副会長等13人が迎えた。一
行は26日午後来岡、岡山プラ
ザホテルでの交流会に臨んだ。

交流会では、土井、相澤両
会長の挨拶の後、活動報告や
意見交換、今後の交流計画な
どについて話し合った。

共通の課題としては、会員
の増強策や高齢化対策への取
り組み、ホームページの活用
方策などについても論議。ま

た、双方の協会による共同事
業開催の提案などもおこなわ
れた。

中でも、活動への若い人達
の参加をどう進めるかについ
て、議論が交わされた。

高綱日大名誉教授ら来岡
「中西寛治資料」を現地調査

高綱博文日本文学名誉教授
と池田尚広杏林大学講師を中
心とする3人の研究者が、昨
年11月13日から2日間、故中
西寛治氏関連の資料調査のた
め当協会を訪れた。

高綱氏は、上海居留民の研
究で著名な学者で関連著書も
多数上梓されている。今回、
井原市の片岡良仁氏の紹介で



協会事務所での調査・資料精査

今回の調査目的は、岡山県
の日中友好協会初代事務局長
だった中西寛治氏の調査を中
心として、内山完造から中西、
そして現在の岡山市日中友好
協会につながる日中友好運動
の流れを研究するため。

おりしも、本年は協会設立
45周年にあたり、協会として
も45年前の設立の背景となつ
た経緯を検証することで、岡
山の友好運動と組織実態など
を解明できる良い機会にもな
ることから、今回の研究に全
面的に協力。成果を共有して
いくことにしている。

活動日誌・・・

9/20：第4回理事会開催
(協会事務所)

9/26：ルネスホール打合せ
(猪木、江草、林、
松井)

11/5：郭沫若講演会
(JUNKO HALL。
165名参加、協会
後援)

先憂後楽・・・

9/27：内山完造生誕140
周年記念訪中団旅行
説明会(シティホテ
ル桑田町)

11/7：岡山市国際課と来年
の友好都市締結45周
年記念事業打合せ
(市国際課、松井)

10/5：『2025 STUDENT
EXCHANGE』選考
会(県日中教育交流
協議会主催)

11/7：高市総理が国会で
「台湾有事」発言
合せ

10/6：中国銀行上海事務所
能登所長来局

11/10：ルネスホール最終打
合せ

10/7：森田副会長、張紅教
授来局(郭沫若シン
ポジウム協力)

11/13：日本大学高綱博文先
生等3名来局(『
14. 協会の中西寛治
資料調査』

10/10：伊原木一衛氏を訪問
(丸田産業。猪木、
松井)

11/15：国際交流研究会・岡
山(ICOI) 15周
年記念式・講演会(県
国際交流センター)

10/13：早稲田大学田漢シン
ポジウム参加。内山
隆氏(内山完造甥、
豊田市)宅訪問(松
井)

11/18：井原市文化財セン
ター。上海より展示
作品返却、立会い(片
岡良仁氏、松井)

10/16：岡山県日中仏教文化
交流訪問団出発(『
10/21、19名。長泉
寺丈心会。洛陽、西
安、上海)

11/19：土井会長に面談、内
山完造生誕140周
年記念事業延期を協
議(岡山旭東病院)

10/18：内山完造生誕140
周年記念訪問団出発
(『20)

11/20：岡山市庭園都市計画
課会議参加(松井)

10/26：松本日中友好協会来
岡(相澤会長等7名。
岡山、牛窓)研修及
び交流会(岡山プラ
ザホテル。協会から
12名参加)

11/26：第5回理事会
11/29：最新中国教育事情
(上海市虹口区外国語
第一小学を訪問して
井原市教育長森川
孝一氏講演会(岡山
シティホテル桑田町)

10/29：内山完造展示会打合
せ(猪木、江草、林、
松井)

12/6：2026協会総会・
互礼会実行委員会
(オンライン、事務
所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

10/31：剣道教士八段竹内司
氏を訪問(勝央町。

所)

▼昨秋10月、上海魯迅記念館
で内山完造生誕140周年記
念と銘打った展示会とシンポ
ジウムが開催されました。上
海市友好協会や虹口区の関係
者ら多数が参加、加えて在上
海日本総領事も駆けつけ、日
本からの訪問団も20名が参加
し、盛会裏に終わることがで
きました▼本来ならばこの原
稿を書いている12月半ばに
は、岡山で同様の催事を開催
しているはずでした。が、11
月7日、高市早苗首相の例の
台湾有事発言が飛び出し、中
国の大反発が巻き起こり、
あつという間に交流がストッ
プ。予定していた交流事業の
すべてが延期を余儀なくされ
ました。連日、日中間の航空
便の取消しが発表され、双方
の往来が冷え込んでしまいう
様▼協会活動に携わって45
年、これほどの規模の交流断
絶は経験したことがない。中
国の要人が「是可忍孰不可忍」
(絶対にこれは我慢ができな
い)と極めて厳しく重みのあ
る発言をしたが、それほどの
事態であるというのを思い
知らなければならぬ▼しか
し、この困難な状況の中でも、
活動の歩みを止めるわけには
いかない。内山完造先生は、
今日の何倍も厳しい環境の中
で友好を訴え続けられたので
す▼協会設立45周年の本年、
今こそ内山精神に学び、日中
共同声明を厳守し、両国民と
手を携え、平和共存の大道を
歩む年にしたい。(松)